

2023年3月期 決算説明資料

(2022年4月1日～2023年3月31日)

株式会社 精工技研

2023年5月16日

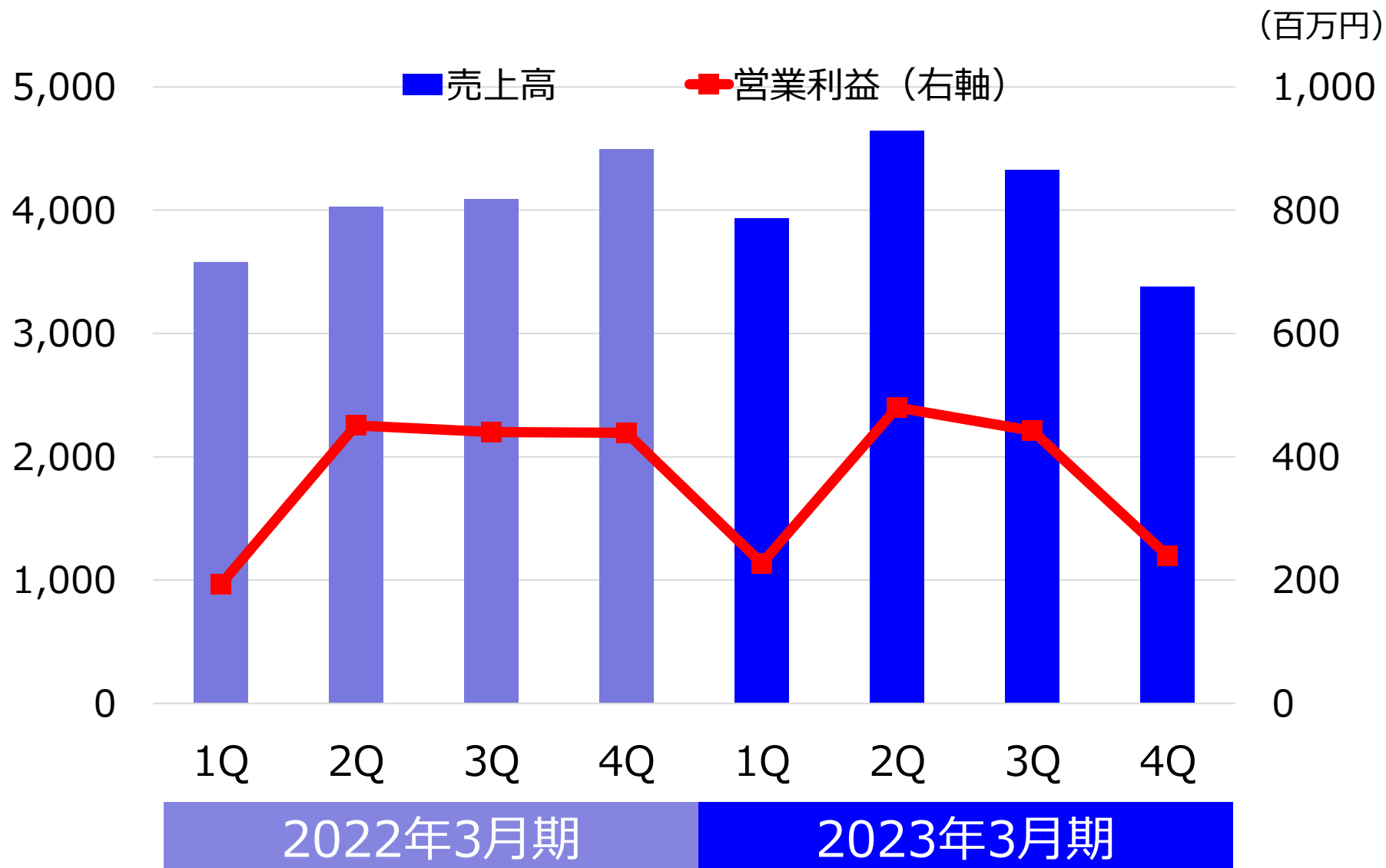
- I . 2023年3月期 連結決算概要
- II . 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III . 2024年3月期 連結業績見通し

- I . 2023年3月期 連結決算概要
- II . 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III . 2024年3月期 連結業績見通し

2023年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2023年3月期	2022年3月期	対前期増減率	業績予想値 (2022/5/13)
売上高	16,282	16,188	0.6%	18,400
精機部門	8,303	8,478	△2.1%	9,720
光製品部門	7,979	7,710	3.5%	8,680
営業利益	1,390	1,524	△8.8%	1,740
経常利益	1,606	1,641	△2.1%	1,760
当期純利益	1,082	1,150	△5.9%	1,240

連結損益 四半期推移



2023年3月期 連結決算ハイライト②

(百万円)	2023年3月期	2022年3月期	対前期増減率
受注高	17,509	17,241	+1.6%
受注残	5,252	4,026	+ 30.5%
設備投資	976	1,476	△33.8%
減価償却費	1,233	1,260	△2.1%
研究開発費	453	437	+3.7%

精機部門／主要製品・主要技術

◆ 成形品

車載用インサート成形品
金属プレス成形品
樹脂射出成形品 等



◆ 金型

アーカイブディスク用金型
その他 精密金型



◆ その他

精密金属加工部品 等



精機部門／セグメント業績

(百万円)	2023年3月期	2022年3月期	対前期増減率
売上高	8,303	8,478	△2.1%
営業費用	7,911	8,097	△2.3%
営業利益	392	381	+2.9%
営業利益率	4.7%	4.5%	—

精機部門／製品別売上高

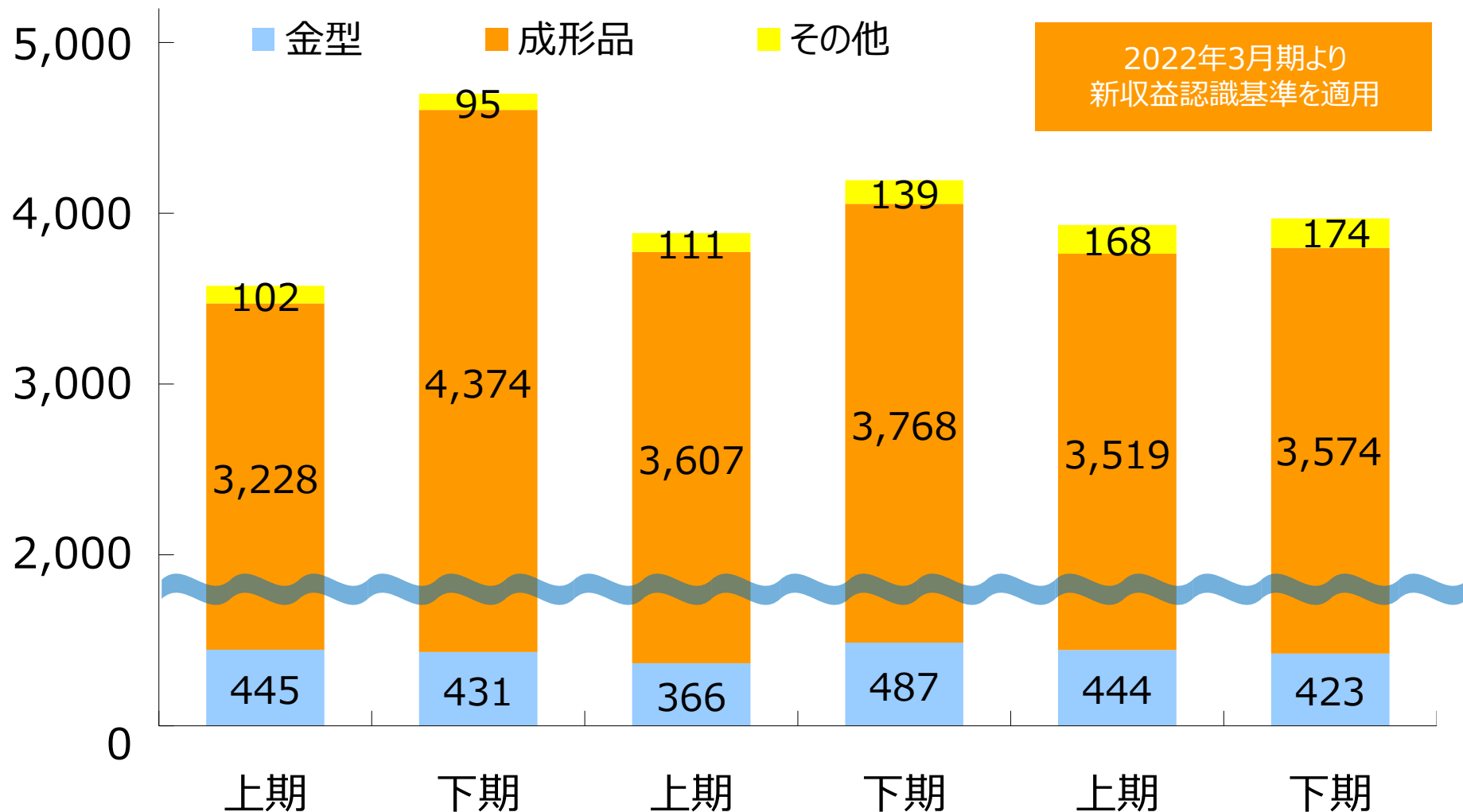
百万円

■ 金型

■ 成形品

■ その他

2022年3月期より
新収益認識基準を適用



2021年3月期

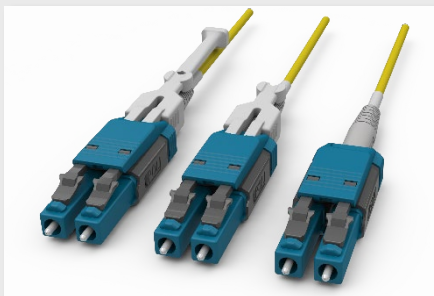
2022年3月期

2023年3月期

光製品部門／主要製品・主要技術

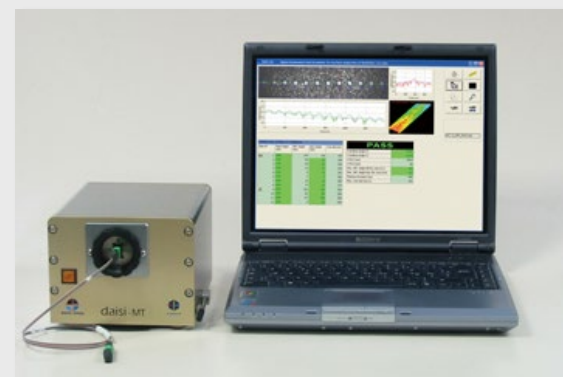
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール 等



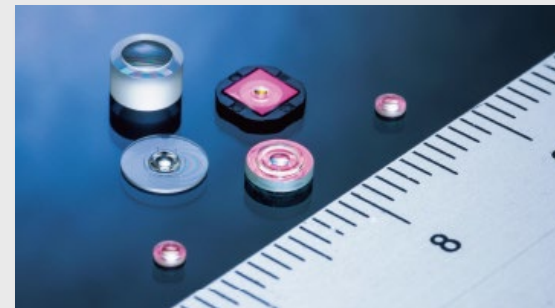
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等



◆ その他

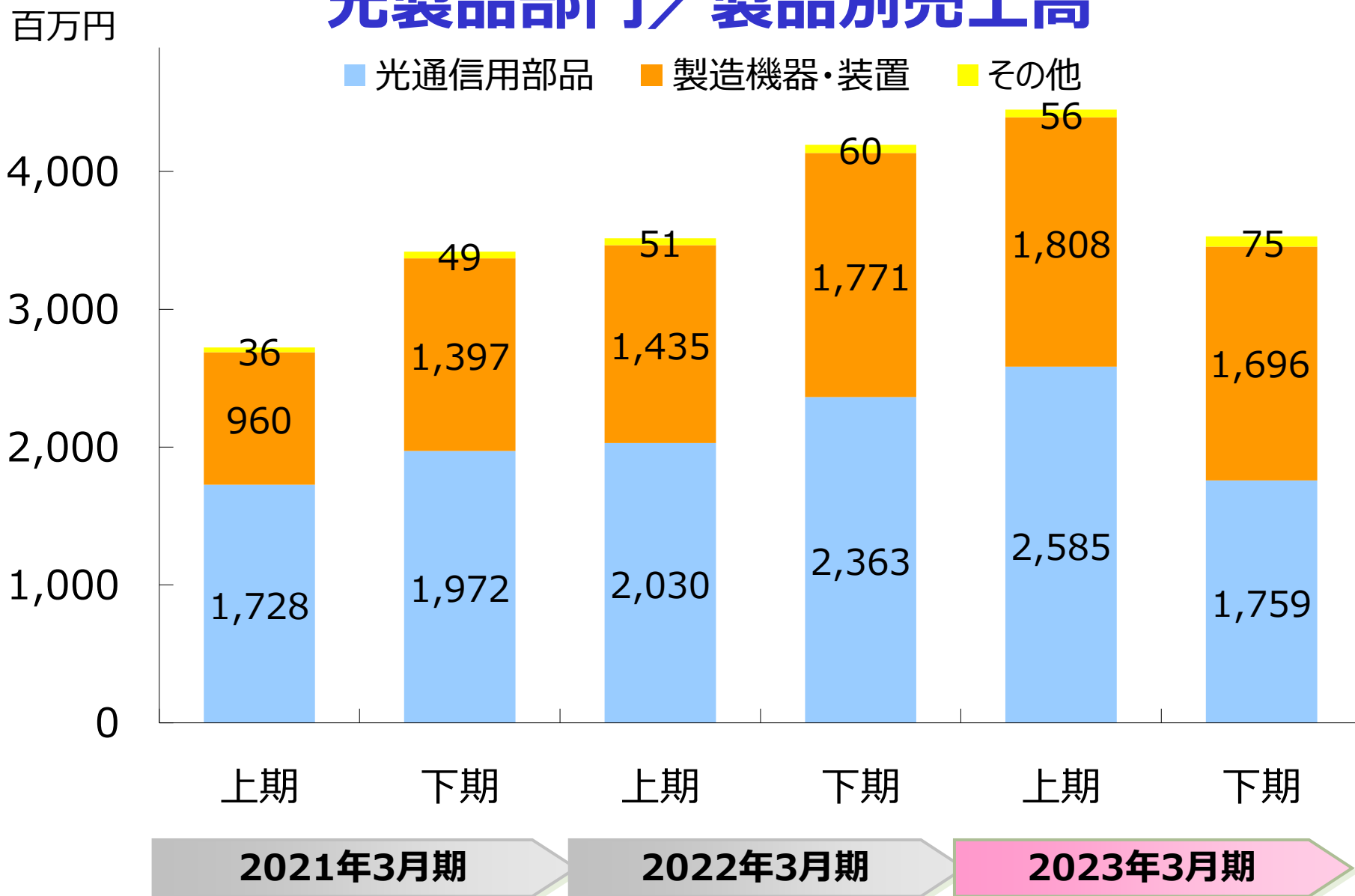
超小型レンズ 等



光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2023年3月期	2022年3月期	対前期増減率
売上高	7,979	7,710	+3.5%
営業費用	6,981	6,567	+6.3%
営業利益	998	1,143	△12.7%
営業利益率	12.5%	14.8%	—

光製品部門／製品別売上高



連結貸借対照表

(百万円)

＜資産の部＞	2023年3月期	2022年3月期	増減額
流動資産	21,758	20,635	+ 1,123
固定資産	9,584	9,703	△119
資産合計	31,342	30,339	+ 1,003
＜負債及び純資産の部＞			
流動負債	3,311	3,367	△55
固定負債	1,555	1,477	+ 78
純資産	26,475	25,494	+ 981
負債純資産合計	31,342	30,339	+ 1,003

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2023年3月期	2022年3月期
営業キャッシュ・フロー	2,299	1,868
投資キャッシュ・フロー	△950	△2,328
財務キャッシュ・フロー	△513	△429
現金増減額	995	△678
期首残高	4,198	4,877
期末残高	5,193	4,198

- I . 2023年3月期 連結決算概要
- II . 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III . 2024年3月期 連結業績見通し

中期経営計画
マスタープラン^o2022
(2022年度～2026年度)

長期経営方針

当社グループが目指す企業像 「社会に必要とされる企業」

社会の**維持継続**に貢献する

- ・ 資源循環型社会の構築
- ・ 脱炭素社会の構築



社会の**進歩発展**に貢献する

- ・ 豊かで快適な社会の構築
- ・ 安全安心な社会の構築



マスタープラン2022 基本方針

真に「社会に必要とされる企業」となるために

「変化」と「成長」

Change & Growth

“環境の変化” を “成長の機会” と捉え、

経済価値の最大化

社会価値の最適化

の、両立を図る

基盤技術と貢献領域

情報通信



自動車



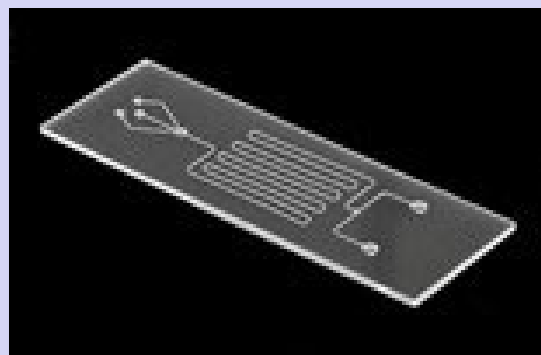
医療・バイオ



優位性のある基盤技術を成長市場に展開



精密加工技術



精密成形技術



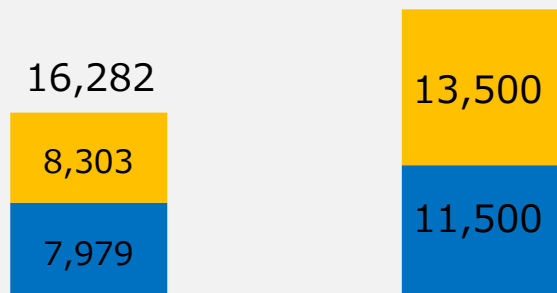
光学技術

中期経営目標（損益指標）

中期経営目標：売上高250億円、営業利益25億円以上

（単位：百万円）

■ 連結売上高



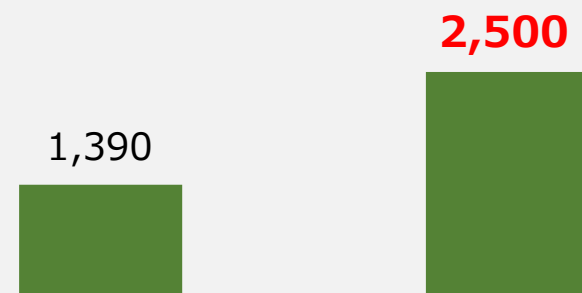
2022実績

2026計画

■ 精機関連

■ 光製品関連

■ 連結営業利益



2022実績

2026計画

（単位：百万円）	FY2022実績	FY2026計画	FY2022比
精機関連	8,303	11,500	139%
光製品関連	7,979	13,500	169%
連結売上高	16,282	25,000	154%
連結営業利益	1,390	2,500	180%
営業利益率	8.5%	10%	+ 1.5%

マスタープラン2022 基本戦略

経済価値の最大化 ～事業の成長～

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

2023年3月期 事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

展示会への出展強化



OPIE'2022の初出展含め、国内外の展示会に10回出展
海外出張の再開、HPの見直し等により新規顧客との接点を活性化

⇒ **2024年3月期以降も継続**

2023年3月期 事業施策

経済価値の最大化

社会価値の最適化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

「型内塗装技術」を新開発



【型内塗装】

成形

塗装

工程削減！！
塗装ブースレス
CO2削減

【従来工法】

成形

移動

アニール

移動

塗装

移動

乾燥

株式会社東海理化と共同で小型部品向けの型内塗装技術を開発
塗装工程や乾燥工程を省略することでCO2削減と生産効率向上を実現

CO2排出量削減効果：▲約60%／工場省スペース化：▲約80%

2023年3月期 事業施策

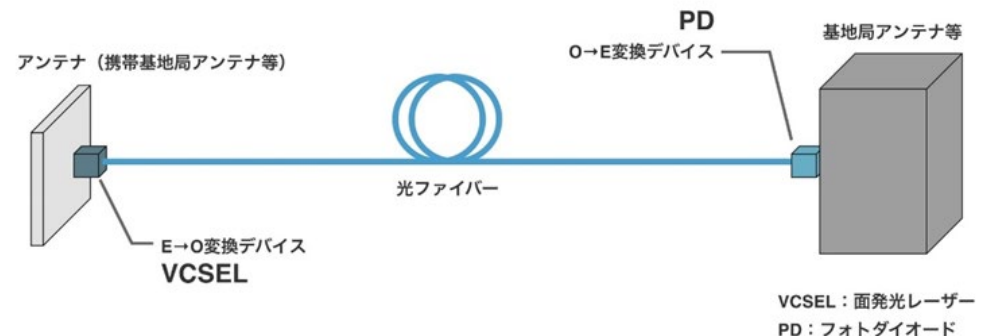
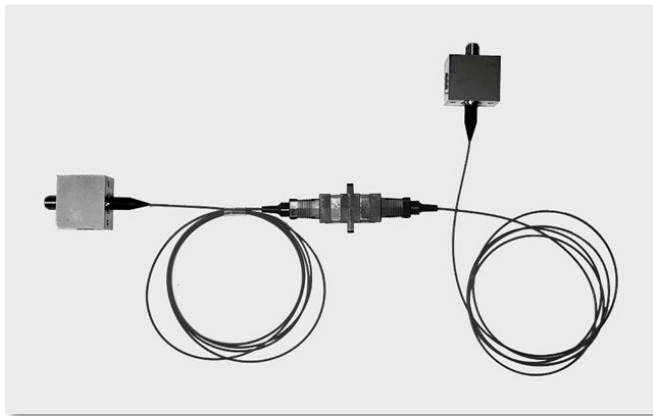
経済価値の最大化

社会価値の最適化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

7Gaaとローカル5G関連で業務提携



7Gaa株式会社は産総研開発スタートアップ企業

5G対応の30GHz帯アナログ光ファイバリンクシステムの開発・製造で提携
超小型、軽量、低消費電力、低損失を特徴とし、ローカル5Gの普及を促進

2023年3月期 事業施策

経済価値の最大化

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安く良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

SEIKOH GIKEN (Thailand) 設立



所在地	タイ ナワナコン工業団地 (バンコク都市部から北に約40Km)
資本金	50百万タイバーツ (約201百万円)
設 立	2023年3月15日
駐在員	日本から2名、中国杭州から1名予定
量産開始	2024年度から

◆ 主な設立目的

光通信用部品の量産体制の強化 (中国、日本、タイの3カ国量産体制)

ASEAN周辺諸国への拡販体制の強化

ASEAN周辺諸国における優良サプライヤーの開拓等

2023年3月期 事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

サステナビリティ推進室の新設

サステナビリティ推進室

カーボンニュートラル推進委員会

DX・IT化推進委員会



環境省
『COOL CHOICE賛同企業』登録

松戸市
『まつど脱炭素社会推進事業所』登録

温室効果ガス自社排出量の算定（SCOPE1、SCOPE2）

節電対策の強化／省エネ設備への切替／省エネ診断の実施

社内業務の効率化・ペーパーレス化／自動化・機械化による生産効率向上

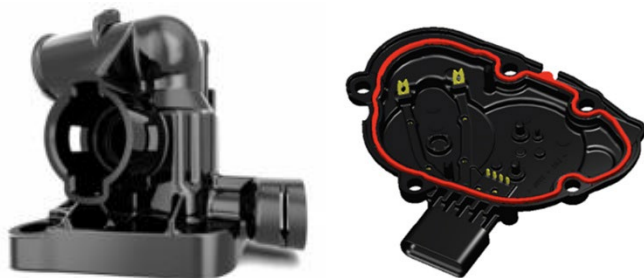
2023年6月予定

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

インド法人 Radiant社への資本出資



Radiant

Smarter Technology • Better Solutions

◆ Radiant社について

法人名	Radiant Polymers Pvt. Ltd.
資本金	124百万インドルピー
売上高	2,036百万インドルピー（2023/3月末）
従業員数	590名

◆ 出資概要

出資総額	約260百万円
出資比率	約13%

Radiant Polymers社はインドの有力な自動車部品メーカー
日本、欧州、北米、南米、アジアの自動車メーカーやTier1を顧客基盤
弊社子会社 不二電子工業から出資し、技術面、販売面で協業を図る

- I . 2023年3月期 連結決算概要
- II . 中期経営計画マスタープラン2022の進捗
- III . 2024年3月期 連結業績見通し

2024年3月期 連結業績見通し

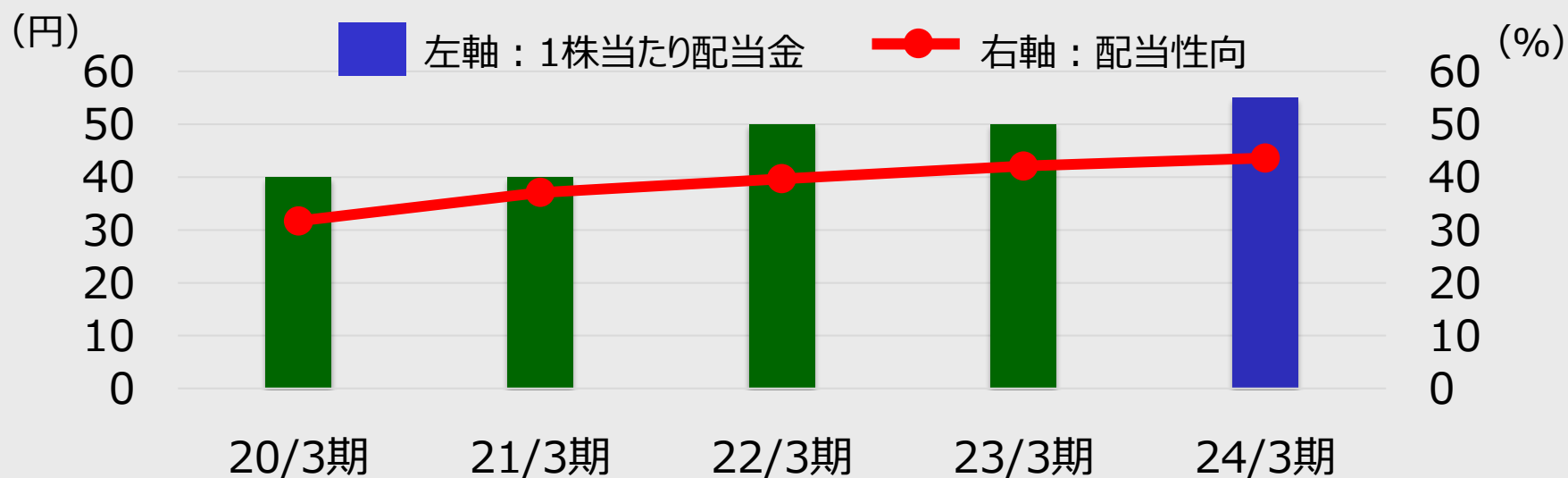
(百万円)	上半期	下半期	24/3月期 見通し	23/3月期 実績
売上高	8,320	9,140	17,460	16,282
営業利益	580	1,060	1,640	1,390
経常利益	590	1,080	1,670	1,606
当期純利益	380	770	1,150	1,082
設備投資			936	976
減価償却費			1,061	1,233
研究開発費			501	453

2024年3月期 連結業績見通し（部門別）

（百万円）				
精機関連	上半期	下半期	24/3月期 見通し	23/3月期 実績
売上高	4,490	4,610	9,100	8,303
営業費用	4,320	4,230	8,550	7,911
営業利益	170	380	550	392
光製品関連				
売上高	3,830	4,530	8,360	7,979
営業費用	3,420	3,850	7,270	6,981
営業利益	410	680	1,090	998

株主還元について

		24/3月期 見通し	23/3月期 予定	22/3月期 実績
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	1,150	1,082	1,150
1株当たり配当金	円	55	50	50
配当性向	%	43.6	42.1	39.7



ご清聴 ありがとうございます。